

## ■米国：国務省、パリ協定からの離脱を正式に通知

各種報道によると、米国国務省は2017年8月4日、温室効果ガスの排出削減を定めたパリ協定からの離脱を国連に通知した。トランプ大統領は6月2日に会見を行いパリ協定からの離脱を表明していたが、具体的な手続きには触れておらず、今回国務省が正式な通知を国連に行ったもの。パリ協定のルールでは協定の発効から3年はいずれの加盟国も離脱できず、離脱手続き後一年を経て正式な離脱が認められるため、米国が離脱するのは2020年11月4日となる。それまでの間、米国はパリ協定の詳細ルールを議論する会議に参加するとともに、また米国にとって適切な条件が整えば、パリ協定への復帰も検討されると報道されている。復帰のための具体的な条件は明らかではないが、米国が提出した約束草案（削減目標）の見直しともいわれている。